



## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 山崎製パン株式会社  
コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久

TEL 03-3864-3110

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	701,609	△0.3	12,352	△32.3	13,422	△28.5	9,816	17.2
24年12月期第3四半期	703,395	2.4	18,243	△9.6	18,784	△8.7	8,372	49.0

(注)包括利益 25年12月期第3四半期 12,361百万円 (25.2%) 24年12月期第3四半期 9,874百万円 (84.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	44.72	—
24年12月期第3四半期	38.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	632,141	271,540	39.6
24年12月期	655,708	263,116	36.9

(参考)自己資本 25年12月期第3四半期 250,173百万円 24年12月期 241,737百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	16.00	16.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	952,000	0.1	18,900	△23.6	20,800	△20.3	12,300	14.0	56.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社デイリーヤマザキ  
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	220,282,860 株	24年12月期	220,282,860 株
25年12月期3Q	791,229 株	24年12月期	759,301 株
25年12月期3Q	219,509,875 株	24年12月期3Q	219,546,341 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 販売実績	10
4. 「参考資料」	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益が改善し設備投資が増加に転じるなど、景気は緩やかな持ち直しの動きが続きましたものの、個人消費への波及は一部の高額商品など限定的なものに止まりました。

パン・菓子業界におきましては、お客様の根強い節約志向によって製品の低価格傾向が続く中、販売競争が激化するとともに、円安による原材料価格の上昇や電気料金・燃料等のエネルギーコストの増加もあり、収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは製品の品質向上と新製品開発に積極的に取り組むとともに、キャンペーンを活用して主力製品の取扱拡大をはかるなど、市場動向に即応した部門別製品戦略、営業戦略を推進してまいりました。また、4月に輸入小麦の政府売渡価格が平均9.7%引き上げられたことに伴い7月から業務用小麦粉の値上げが実施されましたが、当社は、引き続き高品質で安全・安心な製品を提供するため、7月1日出荷分から一部製品を値上げするとともに規格改定を実施し、食パンの売上回復を最優先に主力製品の取扱につとめました。コンビニエンスストア事業につきましては、7月1日をもって子会社の(株)デイリーヤマザキを吸収合併し、デイリーヤマザキ事業統括本部を設置して業務運営体制を一新し、デイリーヤマザキ事業の再生復活に向けて出発いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は7,016億9百万円（対前年同期比99.7%）、営業利益は123億52百万円（対前年同期比67.7%）、経常利益は134億22百万円（対前年同期比71.5%）で、売上が伸び悩む中で原材料費やエネルギーコストの上昇に加え、物流費や販売促進費用が増加し、減益となりました。四半期純利益は、子会社合併に伴う法人税等の減少もあり98億16百万円（対前年同期比117.2%）となりました。

セグメント別の状況

## &lt;食品事業&gt;

食品事業の主要製品別の売上状況は、次のとおりであります。

## ①食パン部門（売上高696億97百万円、対前年同期比98.1%）

食パンは、年初来、単価下落による売上減少が続いておりましたが、7月の粉価改定を機に、主力の「芳醇」、「超芳醇」を値上げして品質訴求によって取扱につとめるとともに、キャンペーンを活用して「ロイヤルブレッド」の取扱拡大をはかり、7月以降、前年同月の売上を確保できるようになりました。

## ②菓子パン部門（売上高2,477億4百万円、対前年同期比102.0%）

菓子パンは、新製品を計画的に投入した「ランチパック」が大きく伸長するとともに、薄皮シリーズなどのミニパンが好調に推移し、堅調な売上増となりました。

## ③和菓子部門（売上高470億52百万円、対前年同期比97.5%）

和菓子は、競争激化によって主力製品が低迷しておりましたが、中華まんの新製品の発売や串団子の品揃えを強化するなどの対策を講じ、9月の売上は回復傾向となりました。

## ④洋菓子部門（売上高849億18百万円、対前年同期比104.2%）

洋菓子は、「ふわふわスフレ」が好調に推移し、「大きなツインシュー」などシュークリームが伸長するとともに、コンビニエンスストアでの取扱いが拡大した「まるごとバナナミニ」が寄与しました。また、(株)不二家の洋菓子事業は、新製品投入や積極的な販売施策が奏功し売上が伸長しました。

## ⑤調理パン・米飯類部門（売上高873億26百万円、対前年同期比98.7%）

調理パン・米飯類は、調理パンの和紙バーガーの不振や弁当類の伸び悩みもあり、売上は前年同期を下回りました。

## ⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高1,116億91百万円、対前年同期比97.6%）

製菓・米菓・その他商品類部門は、㈱不二家の「カントリーマアム」やヤマザキ・ナビスコ㈱の「チップスター」が堅調に推移しましたが、大手コンビニエンスストア、量販チェーンのPB強化によってナショナルブランドの菓子売場が縮小したこともあり売上が伸び悩み、飲料等の仕入商品の売上減少もあり、売上は低調に推移しました。

以上の結果、食品事業の売上高は6,483億90百万円（対前年同期比100.3%）、営業利益は121億6百万円（対前年同期比69.8%）となりました。

## ＜流通事業＞

コンビニエンスストア事業につきましては、㈱サンデリカと共同して米飯類の品質向上をはかるとともに、素材にこだわり、おいしさを追求した高品質な新シリーズ「ヤマザキベストセレクション」を核に商品の品揃えを強化し、魅力ある売場づくりに取り組みました。また、9月からは当社グループのパン、和洋菓子、調理パン等を中心に品揃えを充実し、食パンの店頭スライスなどのサービスを備えた小型のコンビニエンスストア「ニューヤマザキデイリーストア」の店舗展開を開始しました。

流通事業の売上高は、競合激化による既存店の不振に加え、不採算店の閉鎖による店舗の減少もあり、営業総収入は467億27百万円（対前年同期比92.1%）、営業損失は11億43百万円（前年同期は5億6百万円の営業損失）となりました。

## ＜その他事業＞

その他事業につきましては、売上高は64億90百万円（対前年同期比106.5%）、営業利益は9億67百万円（対前年同期比107.5%）となりました。

## (2)連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は6,321億41百万円で、前連結会計年度末に対して235億66百万円減少しました。流動資産は2,025億88百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して237億91百万円減少しました。固定資産は4,295億53百万円で、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に対して2億24百万円増加しました。負債合計は3,606億1百万円で、前連結会計年度末に対して仕入債務等の減少により319億90百万円減少しました。純資産は2,715億40百万円で、前連結会計年度末に対して利益剰余金の増加等により、84億23百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は39.6%となりました。

## (3)連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、景気回復の軌道に乗ることが期待されますが、個人消費の回復には時間を要するものと思われれます。

パン・菓子業界におきましては、お客様の節約志向が続き販売競争が激しさを増す中で、円安による原材料価格の上昇や電気料金・燃料等のエネルギーコストの増加が続き、厳しい経営環境となることが予測されます。

このような情勢下にあります、当社グループは、「芳醇」、「超芳醇」をはじめ主力製品の品質向上に取り組むとともに、当社の技術を駆使した高付加価値製品など市場動向に即応した新製品開発を推進し、品質訴求によって売上の確保をはかってまいります。

コンビニエンスストア事業につきましては、「ニューヤマザキデイリーストア」の店舗展開を推進するとともに、新機能を導入して既存店の競争力強化をはかり、売上回復をめざしてまいります。

今後、営業部門を中心として生産部門・営業部門一体となった部門別・業態別の製品戦略、営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進するとともに、製品別・チェーン別の経常利益管理に取り組み適正利益の確保をはかり、当社グループ一丸となって業績向上につとめてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年8月1日公表の平成25年12月期通期の連結業績予想を次のとおり修正いたします。

平成 25 年 12 月期通期の連結業績予想の修正（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	954,000	25,000	26,500	14,000	63.78
今回修正予想 (B)	952,000	18,900	20,800	12,300	56.03
増減額 (B-A)	△ 2,000	△ 6,100	△ 5,700	△ 1,700	—
増減率 (%)	△ 0.2	△ 24.4	△ 21.5	△ 12.1	—
(ご参考)前期連結実績 (平成24年12月期)	951,502	24,754	26,109	10,790	49.15

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社でありました(株)デイリーヤマザキは、平成 25 年 7 月 1 日付で当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、当第 3 四半期連結会計期間から連結の範囲から除いております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成 25 年 1 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	92,784	95,134
受取手形及び売掛金	95,986	70,817
商品及び製品	10,154	11,232
仕掛品	805	761
原材料及び貯蔵品	8,910	8,824
繰延税金資産	3,580	2,838
その他	14,750	13,419
貸倒引当金	△593	△441
流動資産合計	226,379	202,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	330,707	334,590
減価償却累計額	△243,102	△247,751
建物及び構築物(純額)	87,604	86,839
機械装置及び運搬具	426,855	433,475
減価償却累計額	△356,063	△363,762
機械装置及び運搬具(純額)	70,792	69,713
工具、器具及び備品	26,051	26,320
減価償却累計額	△22,925	△23,066
工具、器具及び備品(純額)	3,126	3,254
土地	112,587	112,794
リース資産	30,780	31,892
減価償却累計額	△14,927	△17,542
リース資産(純額)	15,852	14,349
建設仮勘定	3,750	3,925
有形固定資産合計	293,714	290,876
無形固定資産		
のれん	17,165	16,203
その他	14,117	13,563
無形固定資産合計	31,283	29,767
投資その他の資産		
投資有価証券	44,219	48,571
長期貸付金	580	639
繰延税金資産	25,112	26,785
その他	37,232	35,481
貸倒引当金	△2,814	△2,568
投資その他の資産合計	104,331	108,909
固定資産合計	429,328	429,553
資産合計	655,708	632,141

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,051	64,875
短期借入金	59,759	58,240
リース債務	5,550	5,329
1年内償還予定の社債	1,234	1,234
未払法人税等	5,848	944
未払費用	34,145	29,087
賞与引当金	3,388	10,355
販売促進引当金	833	475
店舗閉鎖損失引当金	15	12
資産除去債務	13	18
その他	35,160	26,791
流動負債合計	220,999	197,366
固定負債		
社債	3,699	2,570
長期借入金	53,327	44,868
リース債務	11,130	9,649
退職給付引当金	85,999	88,560
役員退職慰労引当金	3,359	3,353
資産除去債務	3,915	4,217
その他	10,161	10,014
固定負債合計	171,591	163,234
負債合計	392,591	360,601
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,676	9,676
利益剰余金	212,758	219,058
自己株式	△762	△800
株主資本合計	232,686	238,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,398	11,149
繰延ヘッジ損益	3	0
土地再評価差額金	45	45
為替換算調整勘定	△396	28
その他の包括利益累計額合計	9,051	11,224
少数株主持分	21,379	21,367
純資産合計	263,116	271,540
負債純資産合計	655,708	632,141



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	703,395	701,609
売上原価	448,382	448,804
売上総利益	255,013	252,804
販売費及び一般管理費	236,770	240,452
営業利益	18,243	12,352
営業外収益		
受取利息	48	45
受取配当金	448	516
固定資産賃貸料	435	439
持分法による投資利益	562	514
雑収入	794	1,153
営業外収益合計	2,290	2,668
営業外費用		
支払利息	1,355	1,267
雑損失	393	331
営業外費用合計	1,748	1,599
経常利益	18,784	13,422
特別利益		
固定資産売却益	6	37
投資有価証券売却益	0	46
債務保証損失引当金戻入額	1,006	—
その他	88	—
特別利益合計	1,101	84
特別損失		
固定資産除売却損	1,197	1,195
その他	762	352
特別損失合計	1,960	1,547
税金等調整前四半期純利益	17,925	11,959
法人税等	9,087	2,079
少数株主損益調整前四半期純利益	8,838	9,879
少数株主利益	465	63
四半期純利益	8,372	9,816

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,838	9,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	876	1,862
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	107	612
持分法適用会社に対する持分相当額	52	8
その他の包括利益合計	1,036	2,481
四半期包括利益	9,874	12,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,394	11,989
少数株主に係る四半期包括利益	479	371

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等  
【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	646,569	50,729	6,096	703,395	—	703,395
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,595	4,951	21,868	31,415	△31,415	—
計	651,164	55,680	27,965	734,810	△31,415	703,395
セグメント利益又は損失(△)	17,352	△ 506	899	17,746	496	18,243

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額496百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	648,390	46,727	6,490	701,609	—	701,609
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,581	4,891	22,052	31,525	△31,525	—
計	652,971	51,619	28,543	733,134	△31,525	701,609
セグメント利益又は損失(△)	12,106	△ 1,143	967	11,929	422	12,352

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額422百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## (6) 販売実績

(単位：百万円)

セグメントの 名称	区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	前年同期比
食品事業	食 パ ン	71,026	69,697	98.1%
	菓 子 パ ン	242,829	247,704	102.0
	和 菓 子	48,280	47,052	97.5
	洋 菓 子	81,528	84,918	104.2
	調理パン・米飯類	88,482	87,326	98.7
	製菓・米菓・その他商品類	114,422	111,691	97.6
	食 品 事 業 計	646,569	648,390	100.3
流 通 事 業	50,729	46,727	92.1	
そ の 他 事 業	6,096	6,490	106.5	
合 計		703,395	701,609	99.7

## 4. 「参考資料」

## (1) 平成25年12月期第3四半期の個別業績 (平成25年1月1日～平成25年9月30日)

## ①個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	481,737	2.8	8,809	△27.1	11,260	△19.1	5,786	△31.8
24年12月期第3四半期	468,608	1.9	12,086	△15.5	13,912	△12.5	8,485	18.8

※平成25年7月1日付で(株)デリーヤマザキを吸収合併した事に伴い、平成25年7月1日～平成25年9月30日までの実績を含めて記載しております。

## ②個別財政状態

	総資産	純資産
25年12月期第3四半期	483,759	233,900
24年12月期	459,299	230,099

(注) 個別業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (2) 平成25年12月期第3四半期 個別販売実績

(単位：百万円)

品 種 別	前第3四半期 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)		当第3四半期 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
	食パン	70,414	15.0%	69,157	14.4%	△1,256
菓子パン	229,813	49.0	232,231	48.2	2,417	101.1
和菓子	48,009	10.3	46,870	9.7	△1,138	97.6
洋菓子	58,365	12.5	60,111	12.5	1,746	103.0
調理パン・米飯類	29,549	6.3	27,610	5.7	△1,939	93.4
製菓・米菓・その他商品類	32,455	6.9	28,933	6.0	△3,521	89.1
小計	468,608	100.0	464,915	96.5	△3,692	99.2
流通事業	—	—	18,677	3.9	18,677	—
内部消去	—	—	△1,854	△0.4	△1,854	—
合計	468,608	100.0	481,737	100.0	13,129	102.8

※平成25年7月1日付で(株)デリーヤマザキを吸収合併した事に伴い、流通事業に平成25年7月1日～平成25年9月30日までの実績を記載しております。

## (3) 平成25年12月期第3四半期 主要子会社実績

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
(株)不二家(連結)	62,621	64,904	2,283	3.6%	185	△452	△638	—%
(株)サンデリカ	66,213	65,763	△450	△0.7	1,976	880	△1,095	△55.4
ヤマザキ・ナビスコ(株)	25,699	25,586	△112	△0.4	1,348	1,373	24	1.8
(株)ヴィ・ド・フランス	23,754	24,314	560	2.4	254	225	△28	△11.2
(株)東ハト	18,159	18,051	△108	△0.6	933	936	3	0.3